

地域間幹線系統に関する事業評価結果

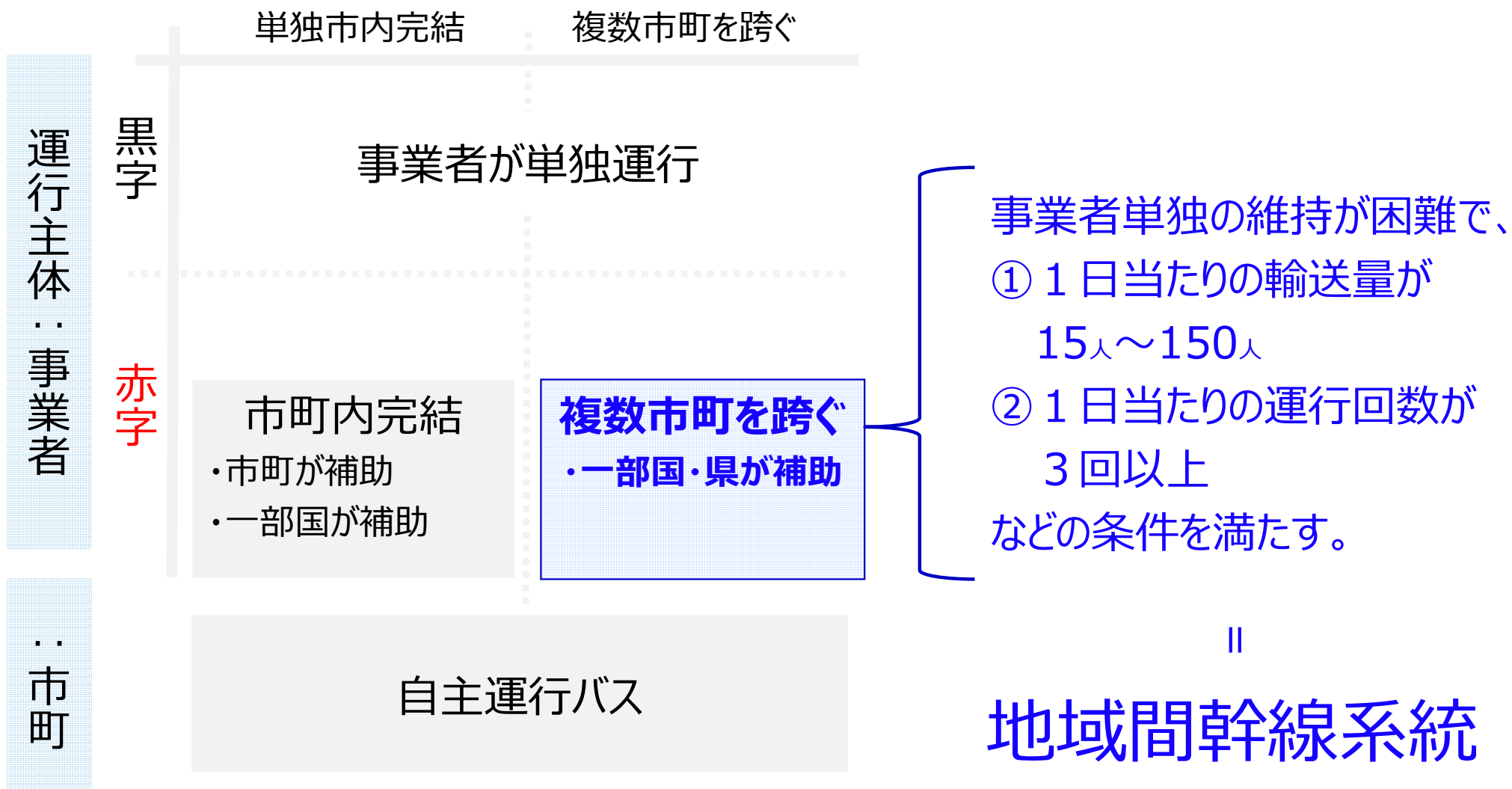
令和元年度

静岡県交通基盤部都市局地域交通課



地域間幹線系統とは・・・

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け

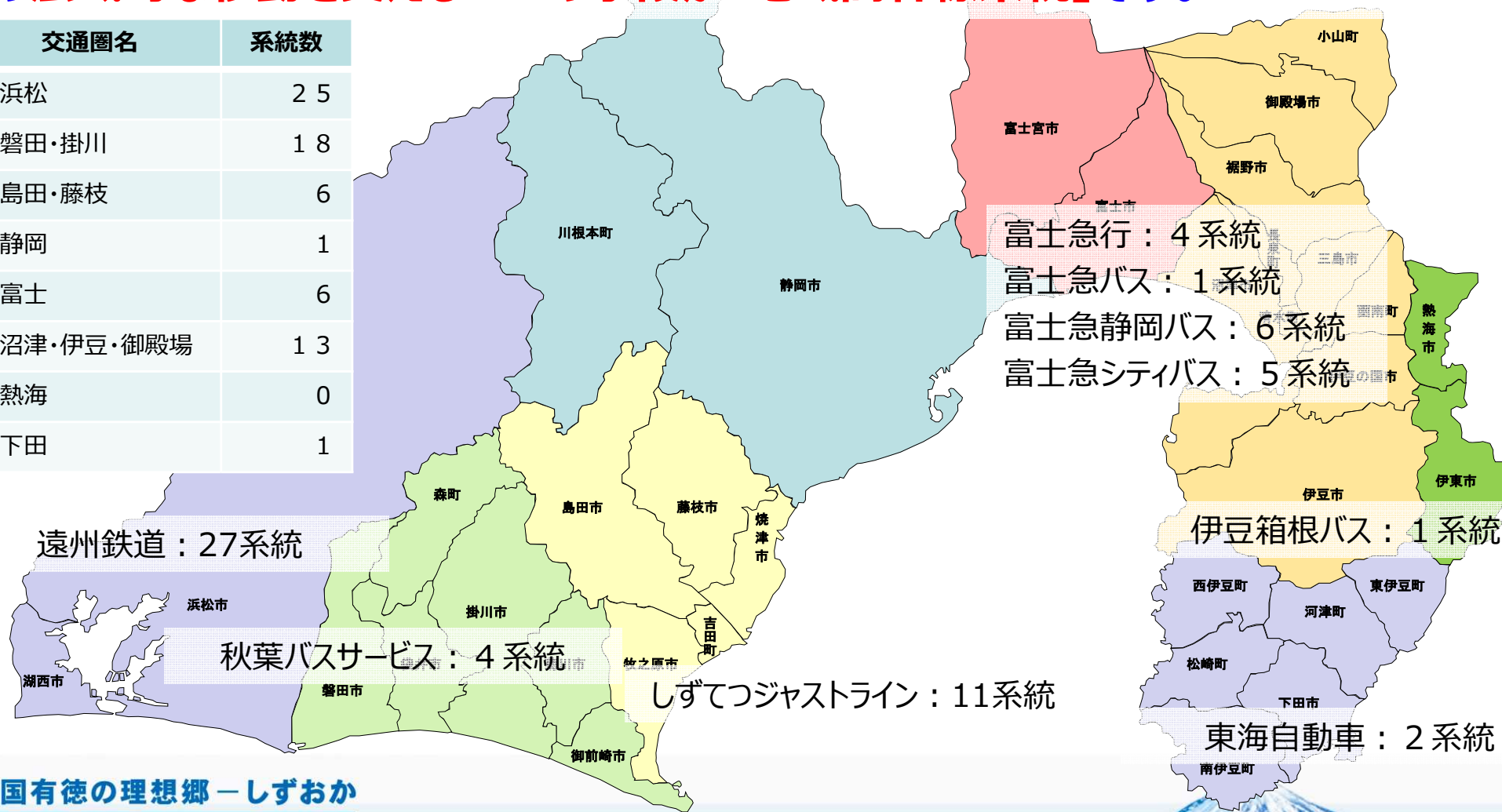


地域間幹線系統は地域にとって重要な路線

日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、
結びつきの強い市町の組み合わせを交通圏として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)

この広域的な移動を支える一つの手段が「地域間幹線系統」です。

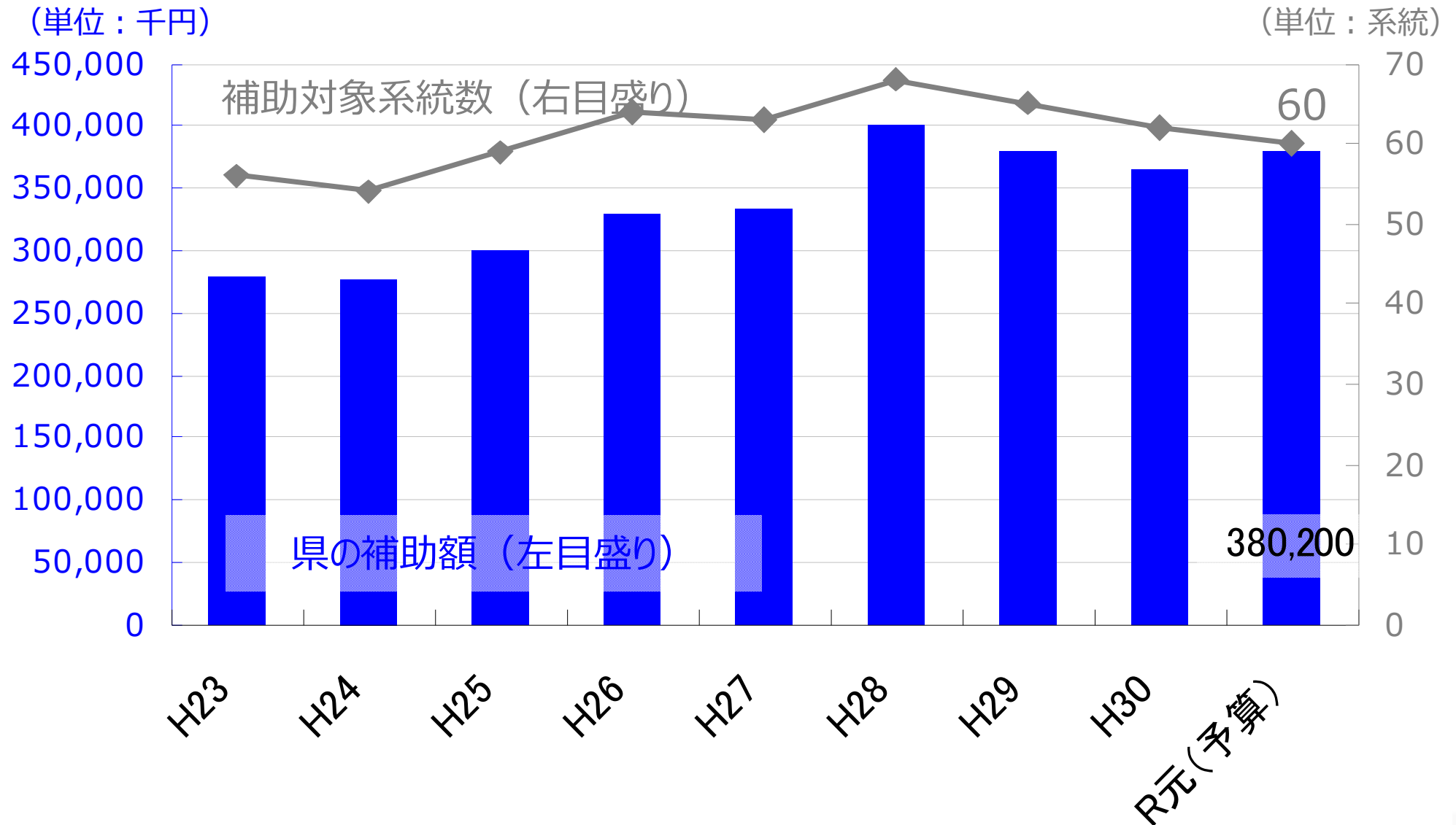
交通圏名	系統数
①浜松	25
②磐田・掛川	18
③島田・藤枝	6
④静岡	1
⑤富士	6
⑥沼津・伊豆・御殿場	13
⑦熱海	0
⑧下田	1



富国有徳の理想郷 - しずおか

ふじのくに

静岡県内の地域間幹線系統と補助額の推移

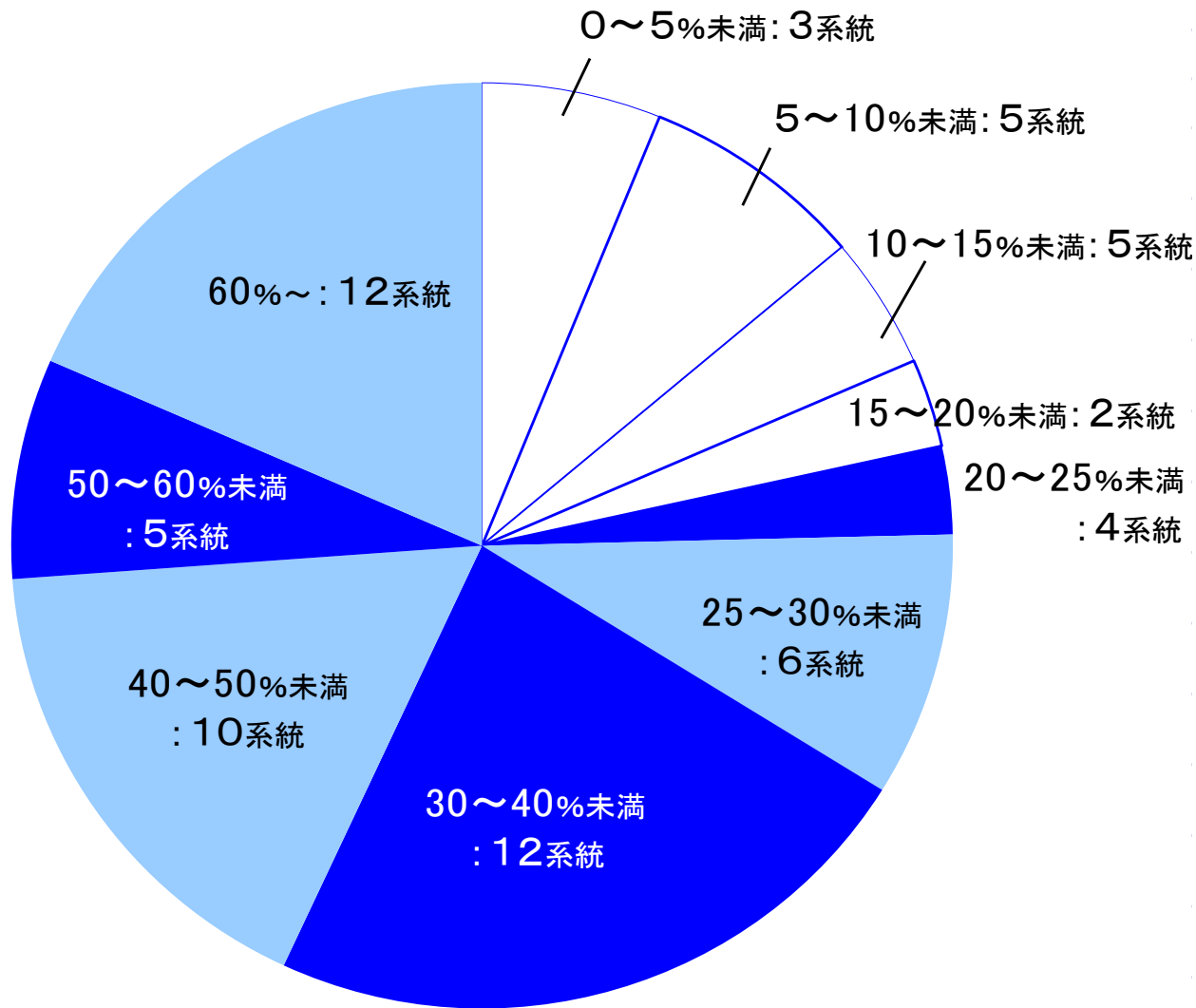


静岡県地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
	合計	A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

広域利用状況(幹線を使って市町を跨ぐ人の割合)



20%以上 (満点の系統)

全体の 3 / 4 以上



令和元年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	系統数
山梨交通	0	1	0	1
秋葉バスサービス	4	0	0	4
遠州鉄道	10	17	0	27
しずてつジャストライン	1	10	0	11
富士急行	1	3	0	4
富士急バス	1	0	0	1
富士急静岡バス	3	1	0	4
富士急シティバス	3	2	0	5
伊豆箱根バス	0	1	0	1
新東海バス	1	0	0	1
南伊豆東海バス	1	0	0	1
合計	25	35	0	60



一方で…

輸送量20人未満の系統（15人未満の系統は補助対象外に…）

事業者名	系統名	起点	終点	輸送量
秋葉バスサービス	秋葉線	袋井駅前	気多	17.8
秋葉バスサービス	秋葉中遠線	大東支所	袋井駅南口	19.3
遠州鉄道	大久保線	浜松駅	山崎	19.7
遠州鉄道	大久保線	浜松駅	田端住宅	16.8
遠州鉄道	浜名線	浜松駅	湖西市役所	15.3
遠州鉄道	笠井高台線	浜松駅	山東	19.8
遠州鉄道	北遠本線	西鹿島駅	水窪町	15.5
遠州鉄道	北遠本線	西鹿島駅	唐沢	16.0
遠州鉄道	掛塚さなる台線	浜松駅	横須賀車庫	19.3
富士急行	御殿場線	御殿場駅	三島駅	18.5
富士急静岡バス	曾比奈線	西富士宮駅	曾比奈	18.1
富士急静岡バス	大淵線	吉原中央駅	富士宮駅	15.3
富士急シティバス	須山線	三島駅	須山	19.5
富士急シティバス	須山線	三島駅	下和田上	16.2
富士急シティバス	原線	沼津駅	東田子浦駅	19.4



令和元年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	評価項目① 運行回数 満点3点	評価項目② 収支率 満点18点	評価項目③ 乗車人員 満点6点	評価項目④ ネットワーク 満点20点	評価項目⑤ 広域トリップ 満点20点	評価項目⑥ キロ当たり経費 満点12点	点数 (A:52~79) (B:26~51) (C: ~25)	評価				事業者 平均	全体評価
									A	B	C	計		
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	3	6	3	6	20	0	38		○		1	38.0	全60系統中36系統がB評価であり、平均評価点数がB(48.9点)ということから全体評価をBとする。
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	3	6	0	11	20	12	52	○			4	58.5	
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	3	18	3	11	15	12	62	○					
	4 秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	3	12	3	6	20	12	56	○					
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	3	18	6	5	20	12	64	○					
遠州鉄道	6 大久保線(浜松駅～山崎)	0	12	0	15	5	0	32		○		27	57.8	
	7 大久保線(浜松駅～田端住宅)	0	18	3	12	0	0	33		○				
	8 伊佐見線	0	15	3	14	0	0	32		○				
	9 浜名線	3	18	3	13	5	0	42		○				
	10 笠井高台線	3	18	6	18	5	0	50		○				
	11 浜北医大三方原線	0	12	0	17	20	0	49		○				
	12 洪川線(浜松駅～洪川儀光)	3	15	3	20	20	0	61	○					
	13 洪川線(浜松駅～伊平)	3	18	3	20	20	0	64	○					
	14 城之崎線	0	15	6	7	10	0	38		○				
	15 磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	3	18	6	13	20	0	60	○					
	15 磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	3	18	6	13	20	0	60						
	16 中ノ町磐田線	0	18	6	12	10	0	46		○				
	17 北遠本線(H30.10.01～H30.10.24)	3	6	0	8	20	0	37		○				
	17 北遠本線(H30.10.25～R元.9.30)	3	0	3	6	20	0	32						
	18 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅)	3	12	3	8	20	0	46		○				
	19 秋葉線(春野車庫～厚生会)	3	9	3	9	15	0	39		○				
	20 磐田天竜線(山東～磐田駅)	0	18	3	14	20	0	55	○					
	21 磐田天竜線(ららぽーと経由)	0	12	0	14	20	0	46		○				
	22 掛塚さなる台線(浜松駅～横須賀)	0	15	3	12	20	0	50		○				
	23 掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	3	12	0	11	20	0	46		○				
	24 掛塚さなる台線(浜松駅～豊田町駅)	0	18	6	10	20	0	54	○					
	25 掛塚さなる台線(浜松駅～磐田駅)	0	18	6	14	20	0	58	○					
	26 内野台線(内野台車庫)(H30.10.01～H31.1.23)	3	18	3	12	20	0	56	○					
	26 内野台線(内野台車庫)(H31.1.24～R元.9.30)	0	18	6	12	20	0	56						
	27 内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01～H31.1.23)	3	18	6	14	20	0	61	○					
	27 内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24～R元.9.30)	3	18	6	14	20	0	61						
	28 磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	3	12	3	7	20	0	45			○			
	28 磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	3	15	3	7	20	0	48			○			
	29 引佐線	0	18	6	20	20	0	64	○					
	30 萩丘都田線	3	18	3	11	10	0	45		○				
	31 大塚ひとみヶ丘線	0	18	3	13	0	0	34		○				
	32 気賀三ヶ日線	0	18	3	20	20	0	61	○					
しずてつジャストライン	33 三保草薙線	0	15	3	5	5	0	28		○		11	44.4	
	34 五十海大住線	0	18	3	7	20	0	48		○				
	35 焼津岡部線	0	18	3	5	20	0	46		○				
	36 藤枝吉永線	0	15	6	8	20	0	49		○				
	37 島田静波線(島田駅前)	3	12	6	9	20	0	50		○				
	38 島田静波線(島田市民病院)	0	9	0	13	20	0	42		○				
	39 藤枝相良線	0	15	0	12	20	0	47		○				
	40 菊川浜岡線	0	15	0	4	20	0	39		○				
	41 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	3	12	6	7	20	0	48		○				
	42 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	0	18	6	9	20	0	53	○					
	43 掛川大東浜岡線(大東支所)	3	12	0	4	20	0	39		○				
富士急行	44 御殿場線	3	9	3	15	20	0	50		○		4	51.2	
	45 駿河小山線	3	12	3	11	20	0	49		○				
	46 十里木線	3	9	3	7	20	0	42		○				
富士急バス	47 河口湖線	3	18	6	17	20	0	64	○		1	61.0		
富士急静岡バス	49 曾比奈線	3	18	6	8	20	0	55	○		4	49.0		
	50 大淵線	3	18	3	8	20	0	52	○					
	51 船津線	3	18	0	11	0	0	32		○				
富士急シティバス	52 大月線	3	18	6	10	20	0	57	○		5	46.4		
	53 駿河平線	3	18	0	9	20	0	50		○				
	54 須山線(須山)	3	9	3	12	20	0	47		○				
	55 須山線(下和田)	3	18	3	11	20	0	55	○					
	56 原線	3	9	3	8	5	0	28		○				
伊豆箱根バス	57 桜堤線	3	18	3	8	20	0	52	○		1	38.0		
伊豆箱根バス	58 中伊豆線	3	9	0	3	20	3	38		○	1	38.0		
新東海バス	59 戸田線	3	18	0	7	20	12	60	○		1	60.0		
南伊豆東海バス	60 石廊崎線	3	18	3	7	20	12	63	○		1	63.0		
計							平均	48.9	24	36	0	60		

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（運行回数）

事業者名	系統名	計画	実績	除外適用回数(*)	点数	系統数	評価項目
山梨交通	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	3,748.5	3,748.5	0.0	3	1	【評価対象】 運行回数 【評価内容】 運行計画回数と実績回数の割合 【評価基準】 計画回数以上 3点 計画回数未満 0点 (ただし、国土交通大臣が認める除外適用運行回数は除く)
秋葉バスサービス	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	2,412.0	2,407.5	5.0	3	4	
	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	6,665.0	6,672.0	0.0	3		
	秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	3,102.5	3,102.5	0.0	3		
	秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	7,117.0	7,119.5	0.0	3		
遠州鉄道	大久保線(浜松駅～山崎)	1,942.0	1,932.0	2.0	0	32	
	大久保線(浜松駅～田端住宅)	1,518.5	1,513.0	1.5	0		
	伊佐見線	3,161.0	3,155.0	2.0	0		
	浜名線	1,095.0	1,094.5	0.5	3		
	笠井高台線	1,339.5	1,340.5	1.0	3		
	浜北医大三方原線	3,154.0	3,138.0	0.0	0		
	洪川線(浜松駅～洪川儀光)	1,277.5	1,277.0	0.5	3		
	洪川線(浜松駅～伊平)	3,084.5	3,087.0	0.5	3		
	城之崎線	2,369.0	2,361.0	2.0	0		
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	2,240.0	2,296.5	3.5	3		
	磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	2,253.5	2,298.0	0.0	3		
	中ノ町磐田線	7,238.0	7,229.5	6.5	0		
	北遠本線(H30.10.01～H30.10.24)	120.0	120.0	0.0	3		
	北遠本線(H30.10.25～R元.9.30)	1,705.0	1,705.0	0.0	3		
	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅)	1,825.0	1,824.0	1.0	3		
	秋葉線(春野車庫～厚生会)	1,825.0	1,823.5	1.5	3		
	磐田天竜線(山東～磐田駅)	2,896.0	2,878.5	7.5	0		
	磐田天竜線(ららぽーと経由)	6,476.0	6,429.5	23.5	0		
	掛塚さなる台線(浜松駅～横須賀)	1,398.0	1,395.0	1.0	0		
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	2,799.5	2,799.5	2.0	3		
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊田町駅)	2,431.0	2,425.5	1.5	0		
	掛塚さなる台線(浜松駅～磐田駅)	2,675.5	2,672.5	1.0	0		
	内野台線(内野台車庫)(H30.10.01～H31.1.23)	1,222.5	1,217.5	5.0	3		
	内野台線(内野台車庫)(H31.1.24～R元.9.30)	2,665.0	2,654.0	1.0	0		
	内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01～H31.1.23)	997.5	996.5	1.0	3		
	内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24～R元.9.30)	2,167.0	2,168.5	0.5	3		
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	2,643.0	2,638.5	4.5	3		
磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	2,565.0	2,635.5	0.0	3			
引佐線	2,128.0	2,125.5	0.5	0			
萩丘都田線	1,825.0	1,823.5	1.5	3			
大塚ひとみヶ丘線	3,405.5	3,401.0	2.5	0			
気賀三ヶ日線	6,647.5	6,636.5	3.0	0			
しずてつジャストライン	三保草薙線	3,792.0	3,776.0	0.0	0	11	
	五十海大住線	3,436.5	3,356.0	0.0	0		
	焼津岡部線	7,033.5	7,022.5	0.0	0		
	藤枝吉永線	4,534.5	4,529.0	0.0	0		
	島田静波線(島田駅前)	2,418.5	2,419.0	0.0	3		
	島田静波線(島田市民病院)	2,607.0	2,596.0	0.0	0		
	藤枝相良線	5,154.5	5,148.0	0.0	0		
	菊川浜岡線	2,745.5	2,740.0	0.0	0		
	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	3,143.5	3,147.0	0.0	3		
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	2,251.5	2,242.0	0.0	0		
掛川大東浜岡線(大東支所)	2,990.5	2,991.0	0.0	3			
富士急行	御殿場線	1,825.0	1,825.0	0.0	3	4	
	駿河小山線	4,425.0	4,425.0	0.0	3		
	十里木線	2,190.0	2,190.0	0.0	3		
	河口湖線	2,007.5	2,007.5	0.0	3		
富士急バス	河口湖線	4,380.0	4,380.0	0.0	3	1	
富士急静岡バス	曾比奈線	1,806.0	1,806.0	0.0	3	4	
	大淵線	1,096.0	1,096.0	0.0	3		
	船津線	1,406.0	1,406.0	0.0	3		
	大月線	8,309.5	8,308.5	1.0	3		
富士急シティバス	駿河平線	2,575.5	2,575.5	0.0	3	5	
	須山線(須山)	2,259.5	2,259.5	0.0	3		
	須山線(下和田)	1,322.5	1,322.5	0.0	3		
	原線	2,462.5	2,462.5	0.0	3		
	桜堤線	4,410.0	4,410.0	0.0	3		
伊豆箱根バス	中伊豆線	4,201.5	4,201.5	0.0	3	1	
新東海バス	戸田線	2,555.0	2,553.0	2.0	3	1	
南伊豆東海バス	石廊崎線	5,475.0	5,470.0	5.0	3	1	
	計			平均:	1.9	65	

(*)運休回数のうち、国庫補助金交付要綱の規定に基づき、やむを得ないとして国土交通大臣が認めた回数(運休として補助額カットをする必要のない回数)

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（収支率）

事業者名	系統名	実績(%)	点数	系統数	事業者平均収支率	評価項目
山梨交通	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	36.7	6	1	36.7	
秋葉バスサービス	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	39.2	6	4	59.4	
	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	75.3	18			
	秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	48.8	12			
	秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	74.3	18			
遠州鉄道	大久保線(浜松駅～山崎)	45.7	12	32	58.9	
	大久保線(浜松駅～田端住宅)	57.3	18			
	伊佐見線	52.9	15			
	浜名線	55.1	18			
	笠井高台線	62.3	18			
	浜北医大三方原線	48.4	12			
	渋川線(浜松駅～渋川儀光)	53.9	15			
	渋川線(浜松駅～伊平)	63.1	18			
	城之崎線	51.1	15			
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	67.1	18			
	磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	64.6	18			
	中ノ町磐田線	72.7	18			
	北遠本線(H30.10.01～H30.10.24)	39.6	6			
	北遠本線(H30.10.25～R元.9.30)	24.7	0			
	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅)	46.8	12			
	秋葉線(春野車庫～厚生会)	44.4	9			
	磐田天竜線(山東～磐田駅)	62.9	18			
	磐田天竜線(ららぽーと経由)	48.1	12			
	掛塚さなる台線(浜松駅～横須賀)	54.8	15			
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	49.2	12			
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊田町駅)	61.9	18			
	掛塚さなる台線(浜松駅～磐田駅)	60.3	18			
	内野台線(内野台車庫)(H30.10.01～H31.1.23)	74.0	18			
	内野台線(内野台車庫)(H31.1.24～R元.9.30)	76.4	18			
	内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01～H31.1.23)	63.0	18			
	内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24～R元.9.30)	61.7	18			
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	49.2	12			
磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	50.9	15				
引佐線	80.2	18				
萩丘都田線	78.7	18				
大塚ひとみヶ丘線	96.3	18				
気賀三ヶ日線	69.7	18				
しずてつジャストライン	三保草薙線	53.2	15	11	52.7	
	五十海大住線	59.3	18			
	焼津岡部線	56.8	18			
	藤枝吉永線	53.5	15			
	島田静波線(島田駅前)	48.4	12			
	島田静波線(島田市民病院)	42.9	9			
	藤枝相良線	53.3	15			
	菊川浜岡線	53.8	15			
	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	47.1	12			
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	64.4	18			
掛川大東浜岡線(大東支所)	47.5	12				
富士急行	御殿場線	44.7	9	4	51.0	
	駿河小山線	46.8	12			
	十里木線	43.2	9			
	河口湖線	69.3	18			
富士急バス	河口湖線	87.0	18	1	87.0	
富士急静岡バス	曾比奈線	62.8	18	4	71.1	
	大淵線	78.2	18			
	船津線	65.7	18			
	大月線	77.8	18			
富士急シティバス	駿河平線	80.2	18	5	57.9	
	須山線(須山)	42.6	9			
	須山線(下和田)	58.8	18			
	原線	43.6	9			
	桜堤線	64.3	18			
伊豆箱根バス	中伊豆線	42.6	9	1	42.6	
新東海バス	戸田線	86.0	18	1	86.0	
南伊豆東海バス	石廊崎線	67.8	18	1	67.8	

【評価対象】
収支率

【評価内容】
当該系統の運行実績に基づく収支率

【評価基準】
収支率の割合に応じ
～29% 0点
30～34% 3点
35～39% 6点
40～44% 9点
45～49% 12点
50～54% 15点
55%～ 18点

(旧国庫補助基準を踏まえ
55%超を満点)

計

58.5 ←Ave.

65

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（乗車人員）

事業者名	系統名	計画 (人)	実績 (人)	達成率 (%)	点数	系統数	評価項目
山梨交通	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	74,772	73,524	98.3	3	1	<p>【評価対象】 実績乗車人員</p> <p>【評価内容】 運行計画乗車人員と実績乗車人員の割合</p> <p>【評価基準】 計画人員+5% 6点 計画人員±5点 3点 計画人員-5%未満 0点</p>
秋葉バスサービス	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	95,633	87,146	91.1	0	4	
	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	167,582	168,611	100.6	3		
	秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	47,172	49,337	104.5	3		
	秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	99,594	110,962	111.4	6		
遠州鉄道	大久保線(浜松駅～山崎)	65,479	61,113	93.3	0	32	
	大久保線(浜松駅～田端住宅)	57,642	58,389	101.2	3		
	伊佐見線	128,265	123,645	96.3	3		
	浜名線	66,003	67,550	102.3	3		
	笠井高台線	76,926	82,285	106.9	6		
	浜北医大三方原線	109,367	101,457	92.7	0		
	渋川線(浜松駅～渋川儀光)	77,699	79,466	102.2	3		
	渋川線(浜松駅～伊平)	134,024	137,523	102.6	3		
	城之崎線	58,703	62,152	105.8	6		
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	84,461	103,861	122.9	6		
	磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	87,874	105,042	119.5	6		
	中ノ町磐田線	382,960	412,038	107.5	6		
	北遠本線(H30.10.01～H30.10.24)	3,339	2,568	76.9	0		
	北遠本線(H30.10.25～R元.9.30)	54,264	52,803	97.3	3		
	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅)	62,970	62,862	99.8	3		
	秋葉線(春野車庫～厚生会)	84,518	81,257	96.1	3		
	磐田天竜線(山東～磐田駅)	106,367	107,801	101.3	3		
	磐田天竜線(ららぽーと経由)	269,164	247,708	92.0	0		
	掛塚さなる台線(浜松駅～横須賀)	64,821	66,720	102.9	3		
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	93,959	88,932	94.6	0		
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊田町駅)	77,275	88,489	114.5	6		
	掛塚さなる台線(浜松駅～磐田駅)	85,779	93,416	108.9	6		
	内野台線(内野台車庫)(H30.10.01～H31.1.23)	34,508	35,525	102.9	3		
	内野台線(内野台車庫)(H31.1.24～R元.9.30)	75,146	79,832	106.2	6		
	内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01～H31.1.23)	25,086	28,905	115.2	6		
	内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24～R元.9.30)	54,089	61,196	113.1	6		
磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	45,303	44,575	98.3	3			
磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	44,179	46,330	104.8	3			
引佐線	94,338	99,730	105.7	6			
萩丘都田線	67,545	66,538	98.5	3			
大塚ひとみヶ丘線	168,943	175,399	103.8	3			
気賀三ヶ日線	437,456	418,477	95.6	3			
しずてつジャストライン	三保草薙線	145,805	152,456	104.5	3	11	
	五十海大住線	109,739	105,056	95.7	3		
	焼津岡部線	105,153	105,212	100.0	3		
	藤枝吉永線	131,994	140,714	106.6	6		
	島田静波線(島田駅前)	62,564	65,878	105.2	6		
	島田静波線(島田市民病院)	82,904	78,532	94.7	0		
	藤枝相良線	227,539	171,974	75.5	0		
	菊川浜岡線	92,940	68,330	73.5	0		
	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	74,775	89,061	119.1	6		
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	80,253	93,456	116.4	6		
	掛川大東浜岡線(大東支所)	50,500	42,682	84.5	0		
富士急行	御殿場線	62,412	59,455	95.2	3	4	
	駿河小山線	87,735	84,937	96.8	3		
	十里木線	49,110	47,934	97.6	3		
	河口湖線	65,410	75,965	116.1	6		
富士急バス	河口湖線	233,866	226,265	96.7	3	1	
富士急静岡バス	曾比奈線	32,218	36,563	113.4	6	4	
	大淵線	33,618	34,513	102.6	3		
	船津線	83,814	70,985	84.6	0		
	大月線	168,263	176,828	105.0	6		
富士急シティバス	駿河平線	72,811	68,317	93.8	0	5	
	須山線(須山)	76,927	75,185	97.7	3		
	須山線(下和田)	54,814	52,974	96.6	3		
	原線	60,045	57,480	95.7	3		
	桜堤線	68,276	69,384	101.6	3		
伊豆箱根バス	中伊豆線	78,750	72,631	92.2	0	1	
新東海バス	戸田線	44,083	40,065	90.8	0	1	
南伊豆東海バス	石廊崎線	107,310	103,212	96.1	3	1	
計				Ave→	3.2	65	

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（結節箇所）

事業者名	系統名	箇所数		点数	系統数	事業者 平均 箇所数	評価項目
		拠点	バス停				
山梨交通	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	2	2	6	1	4.0	
秋葉バスサービス	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	2	7	11	4	6.7	
	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	2	7	11			
	秋葉中遠線(大東支所～袋井駅南口)	1	4	6			
	秋葉中遠線(横須賀車庫～袋井駅南口)	1	3	5			
遠州鉄道	大久保線(浜松駅～山崎)	1	13	15	32	11.5	
	大久保線(浜松駅～田端住宅)	1	10	12			
	伊佐見線	1	12	14			
	浜名線	4	5	13			
	笠井高台線	2	14	18			
	浜北医大三方原線	2	13	17			
	渋川線(浜松駅～渋川儀光)	2	18	20			
	渋川線(浜松駅～伊平)	2	17	20			
	城之崎線	1	5	7			
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	1	11	13			
	磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	1	11	13			
	中ノ町磐田線	2	8	12			
	北遠本線(H30.10.01～H30.10.24)	2	4	8			
	北遠本線(H30.10.25～R元.9.30)	1	4	6			
	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅)	1	6	8			
	秋葉線(春野車庫～厚生会)	1	7	9			
	磐田天竜線(山東～磐田駅)	2	10	14			
	磐田天竜線(ららぽーと経由)	2	10	14			
	掛塚さなる台線(浜松駅～横須賀)	1	10	12			
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊浜郵便局)	1	9	11			
	掛塚さなる台線(浜松駅～豊田町駅)	2	6	10			
	掛塚さなる台線(浜松駅～磐田駅)	2	10	14			
	内野台線(内野台車庫)(H30.10.01～H31.1.23)	2	8	12			
	内野台線(内野台車庫)(H31.1.24～R元.9.30)	2	8	12			
	内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01～H31.1.23)	2	10	14			
	内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24～R元.9.30)	2	10	14			
	磐田市立病院福田線(H30.10.01～H31.3.31)	1	5	7			
磐田市立病院福田線(H31.4.1～R元.9.30)	1	5	7				
引佐線	3	19	20				
萩丘都田線	1	9	11				
大塚ひとみヶ丘線	1	11	13				
気賀三ヶ日線	3	19	20				
しずてつジャストライン	三保草薙線	1	3	5	11	5.0	
	五十海大住線	2	3	7			
	焼津岡部線	1	3	5			
	藤枝吉永線	2	4	8			
	島田静波線(島田駅前)	3	3	9			
	島田静波線(島田市民病院)	4	5	13			
	藤枝相良線	4	4	12			
	菊川浜岡線	2	0	4			
	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	3	1	7			
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	4	1	9			
	掛川大東浜岡線(大東支所)	2	0	4			
富士急行	御殿場線	3	9	15	4	10.2	
	駿河小山線	2	7	11			
	十里木線	1	5	7			
	河口湖線	3	11	17			
富士急バス	河口湖線	3	11	17	1	14.0	
富士急静岡バス	曾比奈線	2	4	8	4	2.5	
	大淵線	2	4	8			
	船津線	3	5	11			
	大月線	3	4	10			
富士急シティバス	駿河平線	3	3	9	5	7.2	
	須山線(須山)	2	8	12			
	須山線(下和田)	2	7	11			
	原線	2	4	8			
	桜堤線	3	2	8			
伊豆箱根バス	中伊豆線	1	1	3	1	4.0	
新東海バス	戸田線	1	5	7	1	6.0	
南伊豆東海バス	石廊崎線	1	5	7	1	6.0	
	計				65		

【評価対象】
ネットワーク構成

【評価内容】
他の系統への乗換可能な
バス停・駅等の拠点箇所数
(ただし、バス停については、
結節箇所以降の重複箇所は
カウントに含まず)

【評価基準】
拠点(駅・ターミナル)1件2点
バス停 1件1点とし、20点を限度

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（広域利用率）

事業者名	系統名	実績(%)	点数	系統数	事業者平均利用率	評価項目
山梨交通	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	25.2	20	1	25.2	<p>【評価対象】 広域利用者の割合</p> <p>【評価内容】 平成13年3月31日現在における 旧市町村域を跨ぐ利用の割合</p> <p>【評価基準】 利用割合に応じて配点 ~4% 0点 5~9% 5点 10~14% 10点 15~19% 15点 20%~ 20点</p> <p>(基準については、平成22年の国勢調査における、本県の他地域への通勤・通学地別人口の割合が20%であることから、これと同様の傾向以上を示すものを満点とする。)</p>
秋葉バスサービス	秋葉線(袋井駅前~遠州森町~気多)	40.8	20	4	37.1	
	秋葉中遠線(袋井駅前~袋井市民病院~遠州森町)	16.9	15			
	秋葉中遠線(大東支所~袋井駅南口)	39.0	20			
	秋葉中遠線(横須賀車庫~袋井駅南口)	51.9	20			
遠州鉄道	大久保線(浜松駅~山崎)	7.0	5	32	29.4	
	大久保線(浜松駅~田端住宅)	1.3	0			
	伊佐見線	1.8	0			
	浜名線	9.7	5			
	笠井高台線	5.4	5			
	浜北医大三方原線	36.8	20			
	渋川線(浜松駅~渋川儀光)	26.0	20			
	渋川線(浜松駅~伊平)	26.9	20			
	城之崎線	12.7	10			
	磐田市立病院福田線(H30.10.01~H31.3.31)	32.5	20			
	磐田市立病院福田線(H31.4.1~R元.9.30)	28.4	20			
	中ノ町磐田線	12.8	10			
	北遠本線(H30.10.01~H30.10.24)	20.7	20			
	北遠本線(H30.10.25~R元.9.30)	38.7	20			
	秋葉線(春野車庫~西鹿島駅)	33.0	20			
	秋葉線(春野車庫~厚生会)	16.3	15			
	磐田天竜線(山東~磐田駅)	66.5	20			
	磐田天竜線(ららぽーと経由)	31.8	20			
	掛塚さなる台線(浜松駅~横須賀)	50.0	20			
	掛塚さなる台線(浜松駅~豊浜郵便局)	34.9	20			
	掛塚さなる台線(浜松駅~豊田町駅)	43.2	20			
	掛塚さなる台線(浜松駅~磐田駅)	28.4	20			
	内野台線(内野台車庫)(H30.10.01~H31.1.23)	44.4	20			
	内野台線(内野台車庫)(H31.1.24~R元.9.30)	45.9	20			
内野台線(サンストリート浜北)(H30.10.01~H31.1.23)	40.6	20				
内野台線(サンストリート浜北)(H31.1.24~R元.9.30)	35.0	20				
磐田市立病院福田線(H30.10.01~H31.3.31)	72.8	20				
磐田市立病院福田線(H31.4.1~R元.9.30)	67.1	20				
引佐線	29.9	20				
萩丘都田線	10.5	10				
大塚ひとみヶ丘線	1.5	0				
気賀三ヶ日線	29.4	20				
しずてつジャストライン	三保草薙線	6.2	5	11	50.1	
	五十海大住線	38.5	20			
	焼津岡部線	62.2	20			
	藤枝吉永線	36.6	20			
	島田静波線(島田駅前)	59.0	20			
	島田静波線(島田市民病院)	49.2	20			
	藤枝相良線	50.0	20			
	菊川浜岡線	41.2	20			
	掛川大東浜岡線(掛川駅前~浜岡営業所)	60.6	20			
	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター)	67.4	20			
掛川大東浜岡線(大東支所)	81.2	20				
富士急行	御殿場線	34.8	20	4	43.8	
	駿河小山線	34.8	20			
	十里木線	40.0	20			
	河口湖線	65.8	20			
富士急バス	河口湖線	83.5	20	1	83.5	
富士急静岡バス	曾比奈線	69.1	20	4	39.5	
	大淵線	32.8	20			
	船津線	4.4	0			
	大月線	51.9	20			
富士急シティバス	駿河平線	52.0	20	5	43.0	
	須山線(須山)	31.0	20			
	須山線(下和田)	36.0	20			
	原線	8.0	5			
	桜堤線	88.0	20			
伊豆箱根バス	中伊豆線	43.6	20	1	43.6	
新東海バス	戸田線	71.8	20	1	71.8	
南伊豆東海バス	石廊崎線	52.7	20	1	52.7	
	計	38.0	←Ave.	65		

令和元年度地域間幹線系統項目別評価一覧表（運行事業者キロ当たり経常費用）

事業者名	国 キロ当たり経常費用	運行事業者 キロ当たり経常費用	割合	点数	評価項目
山梨交通	365.53	381.35	104.3	0	【評価対象】 各運行事業者のキロ当たり経常費用 【評価内容】 国庫補助金が定める地域キロ当たり 経常費用に対する実績単価との比較 【評価基準】 国の単価に対する比率に応じ配点 単価以上 0点 単価～-5% 3点 単価-6～-10% 6点 単価-10～15% 9点 単価-16～20%超 12点
秋葉バスサービス		262.50	71.8	12	
遠州鉄道		385.19	105.3	0	
しずてつジャストライン		417.36	114.1	0	
富士急行		439.59	120.2	0	
富士急バス		392.73	107.4	0	
富士急静岡バス		374.66	102.4	0	
富士急シティバス		414.72	113.4	0	
伊豆箱根バス		361.05	98.7	3	
新東海バス		294.65	80.6	12	
南伊豆東海バス		309.56	84.6	12	
平均値			366.7	100.3	

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急静岡バス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

船津線(富士駅～吉原中央駅～市立病院～沼津駅)

計画策定年度 平成30年度

運行期間 平成30年10月～令和元年9月

評価年度

令和元年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	Ⓐ・B・C	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有・無	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有・無	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(1,406)回 (4.0回/日)	(1,406)回 (4.0回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	52.20%	65.70%	18	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	83,814人	70,985人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(3)箇所 バス停(5)箇所	11	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	4.4%	0	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	富士第一小学校 須津中学校 須津小学校 富士市立高校 金岡小学校 富士中央病院 沼津市立病院 富士市市役所	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	374.66円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				32	評価指標	A・B・C

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	沼津駅～東平沼間、富士駅～吉原中央駅間の通勤通学客の利用を計画。また富士駅～富士中央病院・沼津市立病院への通院客の利用を計画。
増収策	1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデイ定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し(富士駅への直通ダイヤの設定等)を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進(時刻表等配布)を行う。
費用削減策	1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進(アイドリングストップ運動等)により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。

(2) 各項目の評価


項 目	内 容
ネットワーク構成	(主な乗換え拠点・バス停) 乗り換え拠点: 富士駅、吉原中央駅、沼津駅 バス停: 富士銀座、吉原4丁目、吉原本町、和田町、沼津信用金庫愛鷹支店
公共施設 拠点施設 アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 富士第一小学校 須津中学校 須津小学校 富士市立高校 金岡小学校 富士中央病院 沼津市立病院 富士市市役所

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式 2

系統名	船津線			事業者名	富士急静岡バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	富士駅	吉原中央駅 市立病院	沼津駅		
系統キロ程 (km)	25.7	輸送量 (人/日)	27.2		
平均乗車密度 (人/便)	4.7	運行回数 (回/日)	5.8		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	富士第一小学校、須津小・中学校、富士市立高校、金岡小学校			
	病院	富士中央病院、沼津市立病院			
	商業施設				
	その他	富士市役所、JR富士駅・沼津駅、吉原中央駅			
収支率 (%) (収益/費用)	65.7		乗車人員 (人)	70,985	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 3 バス停 5	名称	拠点：JR富士駅・沼津駅、吉原中央駅 バス停：富士銀座、吉原四丁目、吉原本町、和田町、沼津信用金庫愛鷹支店		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	4.4				
増収策	1) 学校への乗合バス乗り方教室を行い、バス利用促進と校外学習での増発バス利用促進を図る。 2) 市内の公共交通一日乗車券等、企画乗車券を発行し普段バスや電車の使用が無い方も公共交通を利用していただき、バス利用促進を図る。 3) 平日専用学生「ウィークデー定期券」について、更にPRを行い、学生のバス利用促進を図る。 4) 富士・富士宮市内の既存路線を一部見直し（富士駅への直通ダイヤの設定等）を行い、バス利用者の利便向上を図る。 5) 当社主要路線及び不採算路線沿線上バス停留所付近を対象とした戸別訪問を実施し利用者へのアンケート及び利用していない方への利用促進（時刻表等配布）を行う。				
費用削減策	1) 軽油燃料・オイル・タイヤ等をグループのスケールメリットを活かしたコスト削減を行い、稼働経費の低減化を促進する。 2) エコドライブの推進（アイドリングストップ運動等）により、軽油燃料の使用量削減と環境保全に努める。 3) 車両の計画的更新による燃費効率の向上と、修繕費の削減を図る。				
沿線市町のサポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

路線図

色別	系統名	運行系統		
		起点	通過地	終点
	曾比奈線	西富士宮駅	赤坂	曾比奈
	大淵線	吉原中央駅	中野	富士宮駅
	船津線	富士駅	富士中央駅 市立病院	沼津駅
	大月線	吉原中央駅	峰畑	富士宮駅



地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

富士急シティバス株式会社

系統名(起点～経由地～終点)

原線(沼津駅～旧道・原駅入口～東田子浦駅)

計画策定年度 平成30年度

運行期間 平成30年10月～令和元年9月

評価年度

令和元年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	Ⓐ・B・C	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有・無	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	有・無	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	2462.5回 (6.7回/日)	2462.5回 (6.7回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	44.1%	43.6%	9	～29% 0点 30～34% 3点 35～39% 6点 40～44% 9点 45～49% 12点 50～54% 15点 55%～ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	60,045人	57,480人	3	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(2)箇所 バス停(4)箇所	8	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	8%	5	～4% 0点 5～9% 5点 10～14% 10点 15～19% 15点 20%～ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	別紙のとおり		—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	414.72円	0	単価を上回った 0点 単価～▲5% 3点 単価▲6～▲10% 6点 単価▲11～▲15% 9点 単価▲16～▲20%超 12点	
合計				28	評価指標	B

A(52～79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26～51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(～25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	<p>JR東海道線と並行しており通勤、通院及び買い物における駅間の地域の公共交通を補完している。</p> <p>桃里地区、一本松地区に居住する小学生の沿線に位置する原小学校への通学利用、又、沿線に位置する保健センターへの訪問客や聖隷沼津病院への通院、お見舞い客等の利用が存する。</p> <p>沼津市南西部におけるJRや他の公共交通機関に接続する通勤、通学、買い物を中心とする公共交通ネットワークの構築を目的としている。</p>
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) ノンステップバスを導入(車両更新)するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。

(2) 各項目の評価

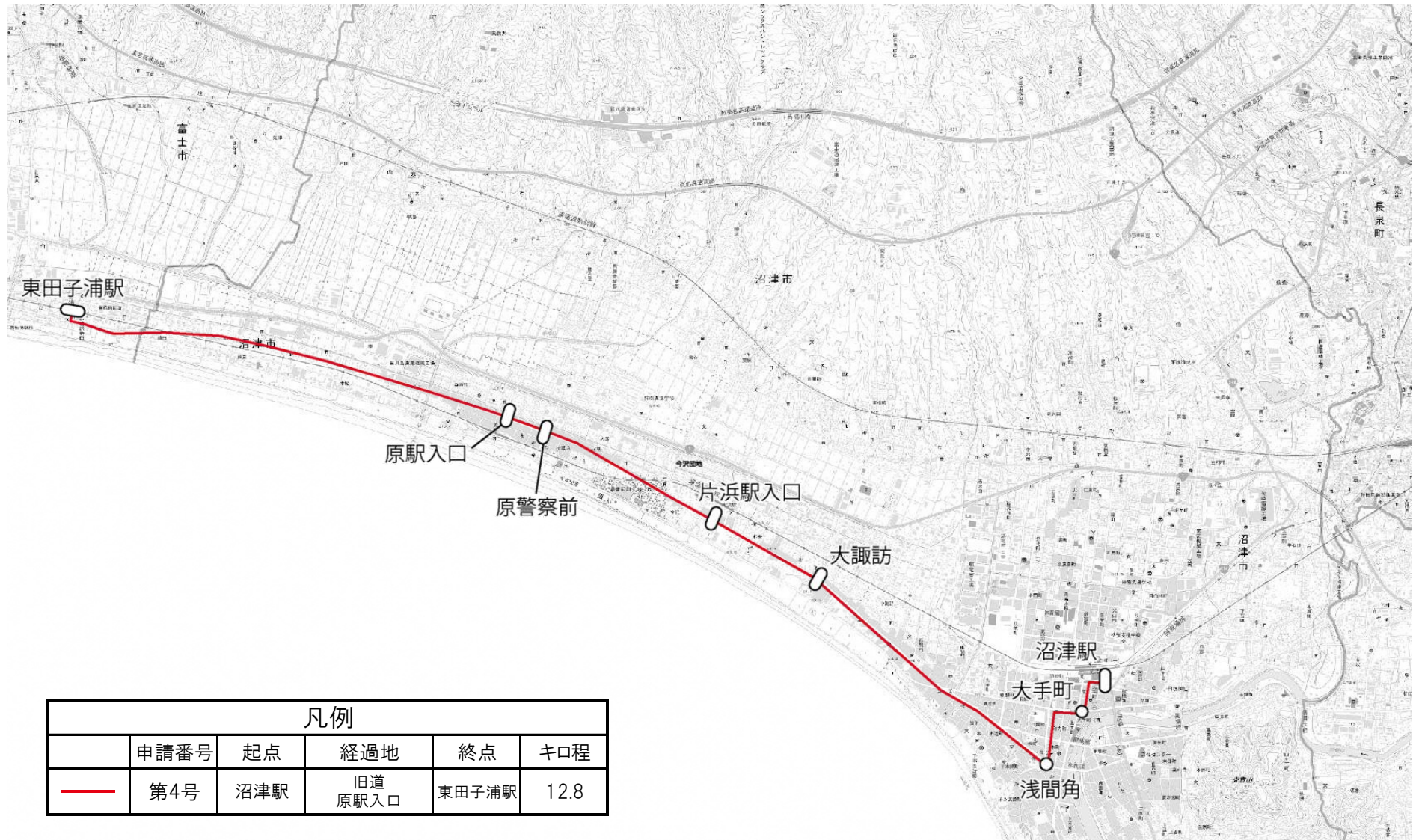
項 目	内 容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>【拠点】 JR沼津駅・・・JR東海道線、御殿場線 JR東田子浦駅・・・JR東海道線</p> <p>【バス停】 大手町・・・伊豆箱根バス、沼津登山東海 大諏訪・・・ミューバス片浜循環、沼津市立病院方面 片浜駅入口・・・ミューバス片浜循環、原団地方面 原駅入口・・・ミューバス原循環</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>【公共施設】 JR沼津駅、JR片浜駅、JR原駅、JR東田子浦駅、原小学校、沼津西高校、保健センター、沼津市立第二中学校、原警察署、原中学校</p> <p>【拠点施設】 西友松長店、カインズホーム沼津店</p>


令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	原線			事業者名	富士急シティバス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	沼津駅	旧道 原駅入口	東田子浦駅		
系統キロ程 (km)	12.8	輸送量 (人/日)	19.4		
平均乗車密度 (人/便)	2.9	運行回数 (回/日)	6.7		
公共・拠点 アクセス 状況	学校	原小・中学校、沼津西高校、市立第二中学校			
	病院				
	商業施設	西友松長店、カインズホーム沼津店			
	その他	JR沼津駅、JR片浜駅、JR原駅、JR東田子浦駅、保健センター、原警察署			
収支率 (%) (収益/費用)	43.6	乗車人員 (人)	57,480		
乗換可能な アクセス拠点等	拠点 2 バス停 4	名称	拠点：JR沼津駅、JR東田子浦駅 バス停：大手町、大諏訪、片浜駅入口、原駅入口		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	8.0				
増収策	1) 行政と連携した地域との意見交換を行い、地域の状況を把握するだけでなく、その機会を利用して路線の存在をアピールすることにより、利用促進を図った。 2) 富士急グループのWEBサイトでの時刻表検索サービスを実施し及び、また乗換検索サービスのコンテンツプロバイダへのデータ提供により、時刻表検索サービスに対応させている。 (ナビタイム、駅すばあと、ジョルダン、Yahoo乗換案内) 3) 幼稚園、小学校等における「バス乗り方教室」を沿線市町にて実施した。 4) ノンステップバスを導入（車両更新）するとともに、既存車両についても案内表示装置を更新し、使いやすいバス環境を整備した。				
費用削減策	1) 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等についても、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を実施した。 2) アイドリングストップ強化月間の実施や点呼等による周知徹底、街頭監査による注意喚起により、燃費向上を実現し軽油使用料の削減を図った。 3) 車両の更新により、燃費効率向上と修繕費の削減を図った。 4) 効率的な仕業再編による乗務員人件費の抑制を図った。				
沿線市町のサポート					
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

運 行 系 統 図

富士急シティバス株式会社



凡例					
	申請番号	起点	経過地	終点	キロ程
	第4号	沼津駅	旧道 原駅入口	東田子浦駅	12.8

原線の現況および今後の方向性について

沼津駅～旧道～東田子浦駅



運行の概要

	運行回数			運行距離
	平日	土曜	日曜	
往路(沼津駅→東田子浦駅)	8便	3便	1便	12.8km
復路(東田子浦駅→沼津駅)	10便	4便	3便	

◆ 沿革

- ・ 2011年4月 原線が国庫補助対象となる。
- ・ 2012年10月 快速便の経路変更(編入)により0.5便を増便 4.8往復/日→5.3往復/日
- ・ 2014年4月 5.3往復/日→6.8往復/日に増便
- ・ 2018年4月 沼津市立原小学校の児童登校について、原線をご利用いただく事となり、運行を効率化。
東田子浦駅～原駅の区間系統(1便)を廃止。
- ・ 2019年4月 沼津市立原小学校の児童下校についても、原線をご利用いただく事となり、運行を効率化。

利用と収支の状況

◆ 利用人員

平日1日あたり約219人の利用

◆ 利用状況

沿線に大型ホームセンター、原駅・片浜駅周辺にはスーパー等の生活必需品の販売拠点が集積しており、買い物需要をターゲットにしている。駅間の長いJR東海道線を補完する役割もある。

また、桃里地区の小学生が原小学校へ通学に利用している。少子化により原線の便を使用する小学生は減少していることから、2018年(平成30年)4月より朝の登校向けの区間系統を原線に統合し、2019年(平成31年)4月には下校も原線をご利用いただいている。

◆ 収支状況

年度	利用者数	運行経費 (A)	運賃収入 (B)	欠損額 (B-A)	補助額		バス事業者 負担額	備考
					国庫補助	県補助		
2017年度	46,614 人	22,935 千円	9,713 千円	▲13,222 千円	2,182 千円	2,182 千円	▲8,859 千円	
2018年度	68,276 人	24,912 千円	10,984 千円	▲13,928 千円	2,220 千円	2,220 千円	▲9,488 千円	
2019年度	57,480 人	26,143 千円	10,971 千円	▲15,172 千円	2,243 千円	2,243 千円	▲10,686 千円	(見込)

今後の運行の方向性について

引き続き国庫補助を受け、運行を継続していきたいと考えております。

今後も、この系統の運行を継続するため、ご理解と、なお一層のご乗車によるご協力をお願いいたします。

時刻表

沼津駅→東田子浦駅

運行日	沼津駅	浅間角	西間門	小諏訪	大諏訪	片浜駅入口	西今沢	原駅入口	桃里	東田子浦駅
月～金	▲ 7:00	7:04	7:11	7:12	7:15	7:17	7:18	7:25	7:33	7:42
月～金	▲ 8:35	8:39	8:46	8:47	8:50	8:52	8:53	9:00	9:08	9:17
月～土	× 11:35	11:39	11:45	11:46	11:49	11:51	11:52	11:59	12:07	12:15
毎日	13:35	13:39	13:45	13:46	13:49	13:51	13:52	13:59	14:07	14:15
月～金	▲ 15:35	15:39	15:45	15:46	15:49	15:51	15:52	15:59	16:07	16:15
月～金	▲ 16:15	16:19	16:25	16:26	16:29	16:31	16:32	16:39	16:47	16:55
月～土	× 18:05	18:09	18:16	18:17	18:20	18:22	18:23	18:30	18:38	18:47
月～金	▲ 18:45	18:49	18:55	18:56	18:59	19:01	19:02	19:09	19:17	19:25

東田子浦駅→沼津駅

運行日	東田子浦駅	桃里	原駅入口	西今沢	片浜駅入口	大諏訪	小諏訪	西間門	浅間角	沼津駅南口
月～金	▲ 6:45	6:50	6:58	7:04	7:06	7:08	7:11	7:13	7:18	7:25
毎日	7:10	7:15	7:23	7:29	7:31	7:33	7:36	7:38	7:43	7:50
月～金	▲ 8:35	8:40	8:48	8:54	8:56	8:58	9:01	9:03	9:08	9:15
毎日	9:00	9:05	9:13	9:19	9:21	9:23	9:26	9:28	9:33	9:40
月～金	▲ 9:30	9:35	9:43	9:49	9:51	9:53	9:56	9:58	10:03	10:10
月～金	▲ 10:15	10:20	10:28	10:34	10:36	10:38	10:41	10:43	10:48	10:55
月～土	× 12:15	12:20	12:28	12:34	12:36	12:38	12:41	12:43	12:48	12:55
毎日	14:20	14:25	14:33	14:39	14:41	14:43	14:46	14:48	14:53	15:00
月～金	▲ 16:30	16:35	16:43	16:49	16:51	16:53	16:56	16:58	17:03	17:10
月～金	▲ 17:20	17:25	17:33	17:39	17:41	17:43	17:46	17:48	17:53	18:00

その他

沼津駅前「のりば再編」により、運行キロ程が若干の変更となる可能性があります。

こちらについては別途資料でご説明をいたします、

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート

(様式1)

事業者名

株式会社新東海バス

系統名(起点～経由地～終点)

戸田線(修善寺駅～虹の郷～戸田)

計画策定年度 30年度

運行期間 平成30年10月1日～令和元年9月30日

評価年度 元年度

(1) 基本的事項

項目	基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価	備考
主な運行目的	事業者記載事項	—	別紙	Ⓐ・B・C	A: 運行目的どおり適切に実施 B: 減便・系統短縮等、運行目的どおり実施されていない点があった C: 運行目的どおり実施されなかった(路線廃止)
増収策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	Ⓢ・無	事業者ごとの取組を記載
費用削減策	事業者計画と実績を比較	—	別紙	Ⓢ・無	事業者ごとの取組を記載

(2) 各項目の評価

項目	評価基準	計画(目標)	運行実績(内容)	評価点数	評価	備考
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	(2,555)回 (7.0回/日)	(2,555)回 (7.0回/日)	3	計画数以上 3点 計画数未満 0点 (国土交通大臣が認める除外運行回数は除く)	計画(目標)は表2記載のもの
収支率	計画値に対する実績値	78.8%	86.0%	18	~29% 0点 30~34% 3点 35~39% 6点 40~44% 9点 45~49% 12点 50~54% 15点 55%~ 18点	
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	44,083人	40,065人	0	5%超 6点 ▲5%以上5%以内 3点 ▲5%超 0点	
ネットワーク構成	他の系統の乗換可能なアクセス拠点(バス停等)の数	—	拠点(1)箇所 バス停(5)箇所	7	拠点(駅・BT): 1箇所2点 乗換可能なバス停: 1箇所1点 上限20点	主な拠点及びバス停を別紙に記載
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合(H13.3.31現在の市町)(運行実績による)	—	71.8	20	~4% 0点 5~9% 5点 10~14% 10点 15~19% 15点 20%~ 20点	
公共施設・拠点施設アクセス状況	評価対象外(バス停から半径500m以内に存在する学校(小・中・高・大・専門学校)病院(主なもので可)拠点商業施設・企業(主なもので可)その他(官公庁・駅等))	—	施設名称 伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバリュ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くら戸田	—	—	
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり經常費用単価(静岡・山梨ブロック)との比較	—	294.65円	12	単価を上回った 0点 単価~▲5% 3点 単価▲6~▲10% 6点 単価▲11~▲15% 9点 単価▲16~▲20%超 12点	
合計				60	評価指標	Ⓐ・B・C

A(52~79点): 地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B(26~51点): 地域間幹線系統として適した運行となっている
C(~25点): 地域間幹線系統として改善に努力を要する

地域間幹線系統確保維持計画系統別評価シート(別紙)

(1) 基本的事項

項 目	内 容
主な運行目的	<p>修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であり、また、戸田からは土肥温泉あるいは井田方面へ乗り換えることができる幹線系統となっており、高齢化率の高い戸田地区においての地域住民の足の確保が目的となっている。</p> <p>伊豆市と沼津市の境となる「戸田峠」を越える利用は、全体の7割を超えており、そのうち通勤、通学、通院等を目的とした地元客が9割近くを占めており、さらにそのうちの半数が通院等の利用となっている。また、戸田峠を越えない短距離利用客の内訳は、修善寺温泉や虹の郷へ行く観光利用が多く、通院等の利用は比較的少ない。</p>
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 高齢者定期券(いきいきパス)を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図る。 3. 当社路線バス沿線情報誌「EAZY(イージー)」に通学定期券の情報を掲載するなど宣伝媒体を利用した利用促進を行っている。 4. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 5. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようにしている。 6. バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口(一部除く)を、クレジットカード対応としたことにより、利便性向上を図っている。
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 31年度賃金(人件費)についても、ベースアップを見送るとともに、賞与の業績連動制度の導入により一層の経費抑制に努めている。 2. エコドライブ(省燃費運転)を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。

(2) 各項目の評価

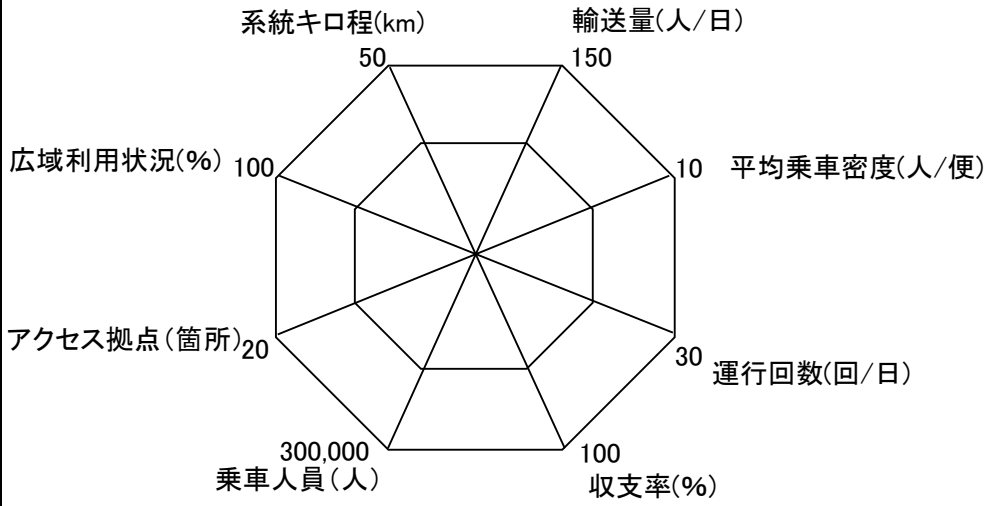
項 目	内 容
ネットワーク構成	<p>(主な乗換え拠点・バス停)</p> <p>拠点: 伊豆箱根鉄道修善寺駅</p> <p>バス停: 修善寺駅口、修善寺温泉入口、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田</p>
公共施設 拠点施設 アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校、伊豆赤十字病院、マックスバリュ修善寺駅前店、伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くるら戸田</p>

令和元年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	戸田線			事業者名	株式会社新東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	修善寺駅	虹の郷	戸田		
系統キロ程（km）	25.1	輸送量（人/日）	33.6		
平均乗車密度（人/便）	4.8	運行回数（回/日）	7.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	伊豆総合高校、戸田中学校、戸田小学校			
	病院	伊豆赤十字病院			
	商業施設	マックスバリュ修善寺駅前店			
	その他	伊豆箱根鉄道修善寺駅、伊豆市役所、修善寺総合会館、沼津市戸田市民窓口、くるら戸田			
収支率（%） （収益/費用）	86.0		乗車人員（人）	40,065	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：1 バス停：5	名称	拠点：伊豆箱根鉄道修善寺駅 バス停：修善寺駅口、修善寺温泉入口、修善寺温泉、ニュータウン入口、戸田		
広域利用状況（%） （他市町へ跨ぐ利用者の割合）	71.8				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 高齢者定期券（いきいきパス）を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図る。 3. 当社路線バス沿線情報誌「E A Z Y（イージー）」に通学定期券の情報を掲載するなど宣伝媒体を利用した利用促進を行っている。 4. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 5. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようにしている。 6. バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 8. 乗車券販売窓口（一部除く）を、クレジットカード対応としたことにより、利便性向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 元年度賃金（人件費）についても、ベースアップを見送るとともに、賞与の業績連動制度の導入により一層の経費抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート					

利用実態



「修善寺駅～虹の郷～戸田線（戸田線）」の 「国庫補助(地域間幹線系統)」適用の継続について

○ 現況

当該路線は、伊豆箱根鉄道線の修善寺駅から修善寺虹の郷を經由し、戸田までを結ぶ路線です。修善寺駅と鉄道のない戸田地区を結ぶ重要な路線であり、また、戸田からは土肥温泉あるいは井田方面へ乗り換えることができることから、戸田線については重要な幹線系統と位置付けております。

利用者は、戸田地区から修善寺駅への通学、通院等の利用あるいは、修善寺駅から戸田方面への観光利用が多く、沼津市と伊豆市の境となる「戸田峠」を越える利用は半数を超えています。通院等の利用が多くなっていますが、これは高齢化率の高い戸田地区において、当該路線が地域住民の足として利用されていることがわかります。

(2019年乗降調査結果 117人中、戸田峠を越えている人員84人(71.8%)
うち通勤・通学36人、通院等41人、観光利用7人)

○ 国庫補助申請理由

当該路線は、昨年、本協議会で承認され、2015年10月から国庫補助路線として運行いたしております。これまで、さまざまな収支改善策を実施してきたことから、収支状況は改善されましたが、依然として厳しいものがあることから、引き続き国庫補助によるご支援をいただきたく、申請するものでございます。

※2018年度欠損額 9,720千円、2019年度欠損額 5,270千円、2020年度見込み 8,621千円

○ 提案理由

引き続き、国庫補助（地域間幹線系統）の適用を受ける場合、2019年9月末までに、新東海バスが静岡県生活交通確保対策協議会に対し、「単独継続困難（国庫補助分）」の申し出を提出することが必要となります。⇒【提出済】

さらに、沿線の各市町の地域公共交通会議において、当該系統を国庫補助とすることについて議題として諮り、承認を受ける必要があることから、提案するものです。

○ 収支改善について

これまでも、エコドライブ(省燃費運転)の取り組み等の経費削減策を行う一方で、利用人員および収入の増加のため、さまざまな利用促進策およびダイヤの見直しを実施してまいりました。特に、2013年度からは「わかりやすいバス、乗りやすいバス」をスローガンにして、増収対策の強化を図っているところであり、これにより輸送人員の減少に歯止めがかかってきました。

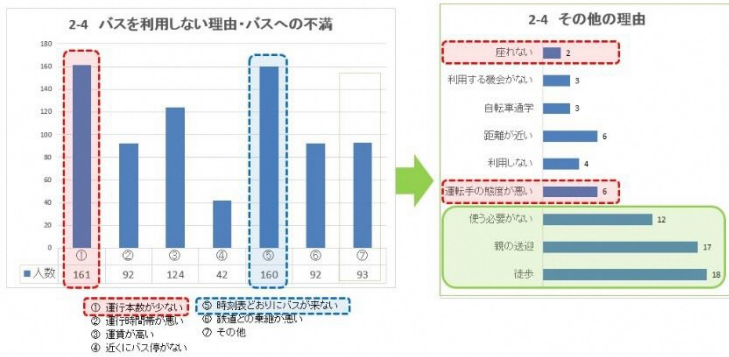
今後も引き続き収支改善に取り組み、補助金の減額に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いするとともに、国庫補助適用につきましてご承認くださいますようお願いいたします。

～増収策～

- ①路線バス時刻表の全戸配布(新聞折込・地区回覧板を利用した配布)
- ②目的別時刻表の作成・配布と戸別訪問の実施
- ③バスの乗り方教室の充実
- ④高等学校における路線バスアンケートの実施
- ⑤系統番号化の推進
- ⑥時刻検索サイトへの掲出
- ⑦バスロケーションシステムの導入 等

高校生アンケート

(問2) あなたの通学時の路線バス利用状況について伺います。



配布用路線図



↑バスロケーションシステム



↑バスの乗り方教室

【修善寺駅～戸田線 路線図】



市町名

沼津市

系統名	取組内容
原線・戸田線	<ul style="list-style-type: none">・バス乗り方教室や公共交通に関する出前講座の開催・地元との意見交換会等による利用促進・本路線を含めた事業者作成のチラシ、時刻表を公共施設等に配布・市ホームページへの市内全域路線図掲載・市ホームページから運行事業者ホームページへのリンク・本路線を含めた市内全域バスマップを作成。自治会を通じ全戸配布し、公共施設や観光協会等にも配布・バスロケーションシステムPR事業への支援 <p>※引き続き事業者と連携して利用促進策に取り組んでいく。</p>

(*)当該系統に対するMMなど利用促進に関する取組や金銭的負担等について具体的に記載